

問 14 このセンター第1、第2、和室のいずれかの部屋が空いている状況がこの先30日間で88.5%である状況下で、新たな会館は不要では？

回答：2箇所にすることでサービスがアップするのでは？と考えています。

問 15 アンケートを受けても自分自身でも「こう使いたい」が思いつかない、ほとんどの人がそうだと思う。今日の説明を聞いていても自分がこういう風に使うんだという1人称の話がひとつも出てこない。活動内容が具体的に決まらなるとただの箱モノになってしまう。何をやるのかということプロジェクトの人はもっと考えてほしい。創る意味は皆無になる。アンケートの際は、自治会館を是非、どのように使いたいという熱い思いを集計したらどうですか？

問 16 アンケートの内容を皆さんの意見を聞いて吟味してから、アンケートを実施して欲しい。アンケートの内容は、どんな部屋をどんなふうに使いたいかなどを聞いてほしい。飲食とか災害は二の次です。

回答：ご意見、ありがとうございます。

問 17 建設委員会の皆さんには、こうした議論のたたき台を検討いただき感謝します。自治会の皆さんに聞いてほしい。自治会としての負担がなくては運営はむずかしい。自治会館ができた時に一人一人としてどういう貢献ができるか負担をしていくのかを考える必要がある。建て替費用、更地にするときの解体費用、運営の努力など。自治委員会もなり手が少なくなっている。会館運営の負担をだれが負うのか。最後は自分たちに自治会に負担が回ってくる。特定の人に苦勞負担が続くかもしれない。自覚をもって賛成反対をしてほしい。

問 18 高齢化が進んでいる状況なので、是非、お年寄りのコミュニティの場所として建設して欲しい。お茶飲み世間話スペースを希望している人は多いのです。また、ふれあい基金を30年間、ほったらかしにしているのはおかしい。このお金で皆さんが喜ぶ、自治会館を作って欲しい

回答：ここは、賛否を問う場ではない。これから何回か、皆さんの意見を伺いながら進めたいと思います。